

## 屋久島生態系モニタリング

### 西部地域におけるヤクナゴヨウ分布調査 (平成16年度調査)

・標高380mヤクナゴヨウ群落プロット(7プロットの植生)

①高木層(優占種:ヤクナゴヨウ)は、2本のヤクナゴヨウを中心にイヌキほか3種高木層を形成している。ヤクナゴヨウの樹高は13~20m、その他は8~13mであり、1本のヤクナゴヨウだけ20mと突出している。胸高直径30cm以上の太いものは、5本あるがヤクナゴヨウのみ直径1m前後と著しく太い。植被率は40%である。

②亜高木層(優占種:サクラツツジ)は、サクラツツジ、タイムチバナなどが亜高木層を形成しているが、植被率は50%で高木層より多い。

③低木層(優占種:タイムチバナ)は、タイムチバナ、サクラツツジなどの本数が多いが、タイムチバナとサクラツツジが特に多い。植被率は30%である。

④草本層(優占種:ヨレイチシダ)は、全体的な植被率は乏しく、10%であった。

このプロットにおける胸高直径50cm以上の太い樹木は、ヤクナゴヨウ1本のみで、またヤクナゴヨウの切株が見られること、周辺のウバカシやマテバシに薪炭利用された形跡が見られることにより、この周辺は以前、人為的に利用されていた二次林である。

ヤクナゴヨウの稚樹は、当年生稚樹が1本あったが2年生以上の稚樹は1本もなかった。

長て町タ者 お日催会林性がのから  
 と九長一を二いにで、業化、初ら世界  
 鹿州の会代三て鹿、屋・セ熊出ス界  
 児森挨長表日開児一久木ン毛荷を記人自  
 島林撈でしに催島〇島材タ流をを念工遺  
 県管、あてはされ屋二林業、森林産の島  
 伊理来、れ屋二林業、活屋林材の島  
 藤局寶矢活最ま久三町日理性久・林島屋  
 知山代屋セ主。房二の署化島業行外  
 事の田表屋久催 に四共議域活事へ



大勢の参加があったシンポジウム

島屋  
 外久  
 出島  
 荷の  
 記ス  
 念ギ  
 行人  
 事工  
 を林  
 開材  
 催の

新屋  
 久島  
 なか  
 挑ら  
 戦の

い分組の し間んで 施名町委  
 慣かと葉当た伐だ屋生し一内員十月  
 れれ、脈日。作後久徒まをの会十  
 なて間こは、業、島達し対学依七  
 い交伐す、等一のは。に五頼日  
 ノ代等り丸の遊自。に森年を、屋  
 コでを出太体々然屋に久林生受久  
 ギ実行し切験のに久つ杉教へけ久  
 リ施う等りを森行一い自然室六、町  
 にし組をや行いでで然を十屋教  
 四、み行植いいでで然を十屋教  
 苦使にう物ま、学館実八久育

### 対屋久町内小学校五年生を 象に森林教室を開催

たの面のちとししすく声た八  
 。一白経帰しな丸た、まをが苦し  
 一貴さ験る、が太。と順た上、して  
 一重体にな切ら切き番待枝、満が伐  
 一な感作生た分もは名ち打足倒を  
 あり験し業徒木一好残のちのけを  
 がにの達を人評惜状はでるして  
 となり生大は記ででし態はでるし  
 うり徒変初念切、そで加。はま  
 ござ代さめにり苦う交が。はま  
 し表とて持落戦で代多 歓し

と長にれの催込い林まデ部森屋新デ大講の部日加開ポ祝  
 もか対た材さんて管翌したイス長林久栄学演反刊一係ジ  
 にもし橋のれだんて理二た。スを組の町の合ネの演反刊一係ジ  
 船、感屋材の伐ま第ス署四日。カを合の板ネの演反刊一係ジ  
 の状謝屋材の伐ま第ス署四日。カを合の板ネの演反刊一係ジ  
 の航贈森工出式の出林貯には、屋久島  
 の呈林セにで発材土屋久島  
 の安管管尽はは式を場久島  
 全す理力か、が積に島  
 折と署さ開みお森



第一船出発式典の様子



保育間伐作業を体験

教も達終 葉いまし  
 室役了天でま縮した  
 を成す候もめく、  
 終つ長も何く、  
 わこ過ことか、  
 りと程のが持、  
 ました。ので、  
 した。少、  
 森し子無の言  
 林で供事

### 屋久島の植物



ホソバハグマ  
 (きく科)

の花広長近ば息のと  
 花茎げいく標すかい屋  
 期を、葉の高るかう久  
 は一伸長さ谷五多年と島  
 九〇ばし一元〇草う低固  
 〇個、五にもm。な地有  
 一く、直〇見環岩の種  
 〇月径二ゼらら境上、。  
 一〇cmcmトの良多しち  
 月一〇cmcmトの良多しち  
 一〇cmcmトの良多しち  
 月一〇cmcmトの良多しち



# 屋久島森林生態系保護地域などにおける学術調査等の入林状況

## 1 動物関係

(平成18年4月1日から平成18年9月15日受付分)

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
菅谷 和沙	ニホンザルの発声を地域間で比較するための調査	1~4	神戸大学大学院 人間文化学系研究科	
揚妻 直樹	学術研究: ヤクシカが森林植生に与える影響を明らかにする	1~4, 9~15, 49~58, 69~71, 75	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	
西川 真理	サルの採食樹利用の調査のため	2	京都大学大学院理学研究科	
永井 真紀子	ニホンジカの調査のため	大川林道付近・終点~鹿之沢小屋~永田岳~宮之浦	横浜国立大学環境コース生態学研究室(小池研)	
千葉 かおり	ヤクシカによる植物への食痕状況調査	89, 90, 95, 96, 99-101, 103, 250, 251, 252	(財)自然環境研究センター	
寺川 真理	サルの採食行動の調査のため	2	広島大学国際協力研究科	
鈴木 真理子	ヤクシマザルの行動調査	1~4	京都大学霊長類研究所	
杉浦 秀樹	西部林道周辺のヤクシマザル及びヤクシカの頭数調査	1~4	京都大学霊長類研究所	
千葉 かおり	ヤクシカによる植物への食痕状況調査	49, 50, 52~54	(財)自然環境研究センター	
大谷 達也	アコウの結実状況およびヤクシマザルによる果実採食の観察	2~4	森林総合研究所九州支所森林生態系グループ外	
早川 祥子	野生ニホンザルの生態調査	2~4	京都大学霊長類研究所	
クリストファー・J.ダグ	ヤクシマザルの寄生虫に対する自己治療行動の研究	1~4	アメリカ合衆国 ジョージア大学	
半谷 吾郎	ニホンザルの調査	6~10, 12	京都大学霊長類研究所	
大谷 達也	センダンおよびクスノキから成長錘によって年輪コアを採取	2, 3, 4	森林総合研究所九州支所森林生態系グループ	
永井 真紀子	シカの食痕調査	20, 205	横浜国立大学環境情報学部	
中川 尚史	西部林道周辺のニホンザルの行動調査	1~4	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	

## 2 植物関係

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
塚谷 裕一	屋久島における植物の特殊化について、その形態上の特徴と、その遺伝的背景の解析を行うため	57, 65, 87~90, 101, 103, 104	東京大学大学院理学系研究科	
脇山 成二	防鹿柵の維持・管理と柵内外の植生調査のため	74~78, 80	(財)自然環境研究センター	
矢原 徹一	植物種の分布調査及びヤクシカによる植物の食害状況調査	2~258	九州大学理学研究院生物科学研究所生物科学部門	
手塚 賢至	ヤクタネゴヨウ調査	島内一円	ヤクタネゴヨウ調査隊	
相場 慎一郎	屋久島の天然林の純一次生産量推定	2, 4, 9, 14, 34, 35, 76, 81, 204, 258	鹿児島大学理学部	
吉丸 博志	屋久島及び種子島の森林生態系における固有樹種と遺伝子多様性の保全に関する研究	2-5, 10-11, 13-14, 16-17, 19, 22, 47-49, 53, 55-60, 62-63, 66, 80-83外	(独)森林総合研究所	
田金 秀一郎	植物の種の分布調査	2-9, 10-15, 40, 49-51, 54, 56-57, 65, 53, 59, 60, 202-205, 102, 214	九州大学農学部 園芸学研究室	
甲山 隆司	照葉樹林の実生稚樹の形態生長調査	11, 14, 39, 40, 43, 44, 46, 47	北海道大学大学院地球環境科学研究院	
吉田 茂二郎	ヤクスギ天然林の群集動態の解析(年輪コアサンプル採取)	80, 86	九州大学農学部 森林計画学研究室	

## 3 その他

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
矢原 徹一	ツバキンキゾウムシによるヤブツバキ種子食害の島内変異の解析	1~40, 43~46, 49~65, 68~72, 74~92, 95, 96, 98~112	九州大学理学研究院生物科学研究所生物科学部門	
館野 正樹	東京大学理学部生態学野外実習のため	3, 4	東京大学大学院理学系研究科	
DAVID HILL	コウモリ調査	1~4, 204, 205, 224, 225, 238, 239, 240, 275	UNIVERSITY of SUSSEX(イギリス)	
太田 貴大	学術研究: 鳥類のかすみ網を用いての捕獲(採血後、放鳥)	屋久島内一円	京都大学農学部森林科学科森林生物学研究室	
幸田 良介	修士論文のための予備調査	2, 3, 52, ~54, 56, 57, 204, 270	京都大学生態学研究センター	
出口 博則	屋久島における蘚苔類の多様性とその分布を明らかにする	粟子岳、楠川、大株、石塚、尾之間、湯泊、粟生、花山、永田歩道	広島大学大学院理学研究科生物科学専攻	
松元 順	酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査 環境省が鹿児島県に委託	3, 9	鹿児島県農業開発総合センター	
辻野 亮	菌類調査	1-4, 69, 70, 249-252, 257, 269, 270, 272	総合地球環境学研究所	
中川 尚史	第8回フィールドワーク講座野外実習のため	1~4	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	
疋田 努	第8回フィールドワーク講座野外実習のため	1~4, 74~80, 108, 109, 211~217	京都大学大学院理学研究科動物学教室	
幸田 良介	樹木毎木調査、ヤクシカ密度調査、食痕調査	2~10, 49, 50, 54, 55, 204, 205, 251, 252	京都大学生態学研究センター	
相場 慎一郎	第8回屋久島フィールドワーク講座野外実習のため	2, 81, 204, 245, 246	鹿児島大学理学部	